令和８年11月15日執行

二宮町長選挙 選挙公報

二宮町選挙管理委員会

新たな風を吹き込み、夢と希望ある町制100年を！

～停滞感・閉塞感からの脱却～

人口減にストップ　知恵と施策を総動員して、ヒトとおカネの集まる町へ



無所属

野地ひろまさ

63歳

① 財源の確保
○第三者ををを交えた継続的専門委員会の設置
○「吾妻山公園 新生計画」新たな魅力創出
○公共施設・町有地活用はプロジェクトチーム
○町内経済の活性化、地域通貨の導入
○ふるさと納税の強化
○ネーミングライツ、企業誘致の促進

② 教育の町
○社会教育のさらなる充実
（人権、道徳、健康、障がい者、環境、歴史、文化芸術、防災、青少年育成、幼保、職業等）
○施設一体型小中一貫教育校の推進
（段階的に中学校1、小学校2、百合が丘保育園の移転検討）

③ 便利で楽しい町づくり
○閉館中のラデイアン図書館機能の確保
○駅公衆トイレの改善（おもてなし心）
○「駅前複合施設基本構想」見直し
○駅周辺交通改善　（新原田橋左折車線、原田交差点、北口一方通行化）
○補聴器購入補助・新たな移動支援
○秦野市、中井町との連携強化
（葛川、有害鳥獣、交通等の対策）

④ 業務改善
○地区担当職員の新設
（迅速な課題解決、役員の負担軽減）
○デジタル、SNSの活用(情報発信強化)
○数字による横断的情報の共有
○「できない」⇒「どうすればできるか」

12年間の活動実績

私がやります！

facebook

Instagram

<プロフィール>
○二宮町生まれ（1963年4月5日）
○めぐみ幼稚園 ・ 二宮小 ・ 中学校
○廣池学園麗澤高等学校(全寮制)
○日本大学法学部法律学科 卒業
○株式会社ホウトク 退社(2014年)
○二宮町議会議員(3期12年)
議長・各委員長・監査委員等歴任
全国・神奈川県町村議会議長会表彰

議会は新庁舎建設に
待った！をかけました

40億円計画から
20億円以内の
「駅前分庁舎型」へ

大沼ひでき8つの政策

余力のお金を、生活と未来の投資へ！

1 コミュニティバス 増車・無料化


お買い物が楽しくなる！
地域の足はグリスロで補充！

2 道路や公園の 整備促進


改善されない道路環境を
徹底的に改善！

3 安心な避難所 防災の強化


エアコンの無い避難所に閉じ込めず、安心優先の避難所へ！



英断 "40億円の巨額な新庁舎計画を止める!"
駅前に賑わいを！既存施設を活かした20億円以内の「駅前分庁舎化」で、誰もが暮らしやすい二宮へ。

再生 "駅前を甦らせ活用する!"
現行の巨額新庁舎案を止め、駅前に観光・コミュニティ・体育・防災機能を含んだ、複合型の窓口庁舎プランに再設計。

地域 "ひとの繋がりを大切にする!"
いつも賑わう地区集会所へ！地域を活性化し、若い力と人手不足の現場を、有償ボランティアで繋ぎます。

経済 "積極的な経済政策を発動"
地元の美味しい食材や特産品が集まる「食べ・飲み歩き横丁」の創出や、地場産業・個人事業主への挑戦支援を推進。

教育 "ここで育てたい!と思ってもらう!"
時代に即した取り組みによって、子どもたちの行動をしっかり見守り、子育て世代に選ばれる町をつくります。

生活 "いつまでも元気にお出かけを!"
交通網の再整備で高齢者や子育て世代が買い物や通院に困らない細やかな移動支援政策を推進します。

防災 "東大果樹園跡地を広域防災公園へ!"
衛星Wi-Fiで途切れない衛星通信を確保し、安心な避難生活を実現します。

愛 "この町を皆さんの一生の宝物にする!"
楽しい町の名前は「にのみや」。二宮の知名度を一気に高める「二宮ドリーム」を巻き起こします！

大沼ひでき（おおぬま）

58歳

二宮町議会議員(二期歴任)
防災士／不動産会社 代表取締役
1968年生・二宮町出身。
妻・息子3人。

詳細はこちら

大沼（おおぬま）ひでき Profile

経歴 民間企業勤務を経て、24歳で町内に起業。
自動車販売や多業種を経験・現在は(株)レアル経営。

学歴 一色小・二宮西中・平塚工業高校電子科卒。
産まれも育ちも仕事も"生粋の二宮っ子"

地域貢献 二宮町消防団第3分団長歴任、商工青友会会長、商店連合協同組合理事、湘南二宮炭焼き会会員、二宮町猟友会会員など、地元で全力活動中。

主な実績 移動支援「グリーンスローモビリティ」推進。
耐震不足を指摘し地域会館の建て替え・改修を実現。
学校での個別課題やイジメ問題の解決支援。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま印刷したものです。

令和８年11月15日執行

二宮町長選挙 選挙公報

二宮町選挙管理委員会

町民の声が、町政の真ん中。二宮を次のステージへ。

声をカタチに



はね

羽根かほる

無所属

❶ 暮らしを支える福祉

福祉の窓口を充実。手話の普及、補聴器の助成を。

❷ 命を守る防災・安心

避難所の整備、葛川の治水対策を加速。いつ起こるか分からない災害から命と暮らしを守る事前準備を。

❸ 学び・育ち・子育てを応援

学びの多様化学校設置とともに、公立学校のトイレ、空調等の教育環境を改善。子育て応援券で家事を支援。

❹ 移動しやすく、人がつながる町へ

「にの♥バス」のルート・ダイヤを見直し、新たな移動手段を確立。多世代が集える居場所を創出。

❺ 財源を生み出す町政へ

財源確保・政策立案チームを創設、企業版ふるさと納税の拡大を促進。行政コストの抜本的な見直し。

財源のない町から、財源を生み出す町へ

発想を変え、新たな手法を取り入れれば、暮らしをもっと良くできる。町をもっと元気にできる。

大学院での公共政策の学びからそう確信をしました。

財源を確保し、町の様々な課題を解決し、二宮を次のステージへ進めます。



PROFILE
■二宮町議会議員（2期／副議長、議会選出監査委員を経験）
■明治大学専門職大学院ガバナンス研究科（公共政策大学院）修了
■キャリアコンサルタント　■社会保険労務士資格 保有

自分らしく 一歩踏み出せるまち 二宮へ!



村田くに子

無所属

新庁舎+ラディアン 新しい二宮町の防災と文化の拠点

●新庁舎・南棟には保健センターと教育委員会・やまびこを設置
●JR鉄橋下の葛川掘削や上流の遊水地の可能性検討

ひとりでも暮らせる 気にかけ合うまち

●コミュニティバス、タクシー券、移動スーパーの拡充
●社協によるおひとり様高齢者終身サポート事業の開始
●アクティブシニアのための働く場、集う場、趣味の場を支援

こどもの声に耳を傾け こどもの幸福度が高まる教育のまち

●5歳児健診と作業療法士を活用した子育て支援の実施
●学校体育館のエアコンやトイレの整備促進
●施設一体型小中一貫教育と「学びの多様化学校」の開設

文化と伝統がつなぐ 新しいきずなのまち

●お祭り・盆踊り、自治会・町内会は、新しいきずなづくりの場
●町民と行政がフラットな立場の「まちづくり協議会」を開催

健全財政を町民のために活かすまち

●未利用地の貸付・売却やふるさと納税の拡大による増収
●デジタル化による業務の効率化とハラスメントの根絶
●観光協会・商工会・商工会・商連の融合と発展を支援

プロフィール
1957年5月1日、横浜市生まれ、東京都日野市育ち。東京都立国立高校卒業。
1980年に専修大学文学部卒業。ジャパンライン㈱（海運会社）勤務。
1989年に「海の見える町」を求めて、夫と双子の息子と二宮町に移住。
1998年に二宮町議会初当選。2期を務めた後、2007年に神奈川県議選に挑戦し当選。
2014年で二宮町長に当選し、現在3期目。